

術前休薬が必要な薬剤の休薬指示を確認した例

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、術前休薬が必要な薬剤の休薬指示を確認することで、安全な薬物療法の提供に貢献できたプレアボイドを紹介いたします。

患者背景

▶原疾患に対する手術目的で入院予定の患者

【服用中の薬剤（抜粋）】

イフェンプロジル酒石酸塩錠 20mg（脳循環・代謝改善薬）



〇さん

手術目的で入院予定の〇さんですが、イフェンプロジル錠を服用されています。イフェンプロジル錠は、**血小板凝集を抑制する作用がある**ため、リスクに応じた休薬の判断が必要な薬剤です¹⁾。手術前 1～2 日の休薬が目安とされていますが、カルテ上では休薬指示が確認できませんでした。今回の手術にあたり、休薬される予定でしょうか？



薬剤師

総合診療サポートセンター（TMSC）



看護師

イフェンプロジル錠を服用していたんですね。
主治医に確認します。



医師

ありがとうございます。
イフェンプロジル錠は術前に中止しましょう。

その後、イフェンプロジル錠の休薬指示が出され、必要な術前休薬期間を確保した上で予定通り手術が施行された。
術前休薬が必要な薬剤について、休薬指示の有無を確認し、必要な休薬期間を確保することで、安全な薬物療法の提供に貢献できた。